ユニバーシアード

8月8日～24日まで中国シンセンにてユニバーシアード大会に出場しました。

気候はとても暑く、湿気も高く少し動いただけで汗をかくような気候でした。

選手村は、小型スーパー、トレーニングジム、プールとほぼ24時間openのバイキング形式の食堂がありました。選手村での食事は、アジア系、ヨーロッパ系、ローカル系などありおいしく頂きました。特に困ったことは、ありませんでしたが、食べ物は腐敗防止のため持ち出し禁止でした。また、レースが始まる２日前までチャーターボーの引き渡しがなく、トレーニングジム、プールや水野さんの体幹トレーニングをして体を動かしていました。部屋はエアコン・シャワーもちゃんと使えて、とても充実していました。

ヨットハーバーは、とても暑く立っているだけで汗をかくような状況で、反対にクラブハウスはエアコンの設定温度が16℃と寒すぎるので、長時間いることは出来ませんでした。陸にいるときはなるべく、日陰や艇庫にいました。最初は、水しか飲み物の提供がなく熱中症に注意しなければなりませんでした。2日目くらいから飲み物も充実し、弁当も出て、食事面ではある程度快適になりました。また、海上での飯は選手村のスーパーで売っているウィダーinゼリーの様な物かパンぐらいしか、ありませんでした。飲み物は、スポーツドリンクがなく、水野さん(トレーナー)が作ってくれました。海上での飲み物、食べ物を最低限確保できるように、日本で準備なり、現地で調達出来る準備をしていかなければいけないと思いました。

開会式は選手村のある深圳(シンセン)から開会式会場まで選手団専用バスで1時間くらい、先導車付き、警官も大体100ｍの間隔で立っており、選手村から開会式会場までの道路は完全封鎖され、道の両側は市民で埋め尽くされ、我々に手を振っている様は圧巻でした。バスの数も300台以上あり中国もユニバーシアードにすごい力を入れていると感じました。開会式が始まると銀河をイメージしたショーが繰り広げられ、大変感動しました。入場行進では両側をボランティアの学生が並んでいてダンス？を踊りながら迎えてくれました。また、観客席は満員でとても歓迎されていました。長時間にわたり、繰り広げられる１つ1つの物事が盛大で圧倒、感動の連続でした。この感動は、なかなか味わえない物だと思いました。今まで、私が出場した国際大会の開会式やレセプションよりはるかに素晴らしく盛大でとても良いものでした。まさに大学生のオリンピックという感じがしました。そして帰りのバスで私は、出る大会を間違えたと思うくらい開会式はすごいものでした…

　閉会式では、開会式程長時間では、ありませんでしたが、開会式と同じクオリティで、手の届きそうなキョリで一部のショーが行われ、とても素晴らしいものでした。また、開会式とは違いきっちり入場行進などはせず、なだれ込むような感じで席に着きました。これも、閉会式の楽しみの１つだと、思いました。

　ユニバーシアードは、総合スポーツ大会だったので、他の競技の選手と交流ができました。その競技の価値観や考え方を話したりしてとてもいい経験になりました。また、どこの国の選手もフレンドリーでした。この様な大会は、日本でも少ないので、できれば、オリンピックもしくはアジア大会、ユニバーシアードも目指して頑張るのもとても良い事だと、思いました。

　監督の中村健一さん、コーチの榮樂洋光さん、栗田直美さん、杉本武さん、トレーナーの水野元晴さん、佐藤結香さんには短い間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございました。

江の島Ｆ　鈴木祥郎